

精神医学 第10巻総目次

1968 年 (第1号～第12号)

〔Editorial〕

補償と保障……………笠松 章……………2(1)	
医学教育と精神医学……………懸田 克躬……………94(2)	
20年後の精神医療のために……………臺 弘……………182(3)	
学会の性格……………新福 尚武……………262(4)	
あらためて精神衛生法について 思う……………西尾友三郎……………338(5)	
ワシントンにいればいるほどア メリカのことがわからなく なる傾向がある (エドガー・ スノー)……………江副 勉……………427(6)	
エッセイとコンピューター……………加藤 正明……………522(7)	
ピネルのことなど……………井村 恒郎……………599(8)	
精神療法と生活療法……………臺 弘……………674(9)	
精神医学における古典……………保崎 秀夫……………762(10)	
精神科医の当面の任務……………懸田 克躬……………858(11)	
日本の治療社会……………加藤 正明……………954(12)	

〔精神医学懇話会〕

(第6回) 精神医学における人間学の方法

(司会 島崎敏樹)

主題報告……………笠原 嘉……………5(1)	
指定討論……………霜山 徳爾……………19(1)	
……………佐治 守夫……………21(1)	
一般討論 発言者	
三好 都男・森山 公夫・宮本 忠雄	
土居 健郎・小川 信男・藤田 千尋	
金子 嗣男・中根 晃・吉永 五郎	
加藤 清・村上 仁……………26(1)	

〔特 集〕

うつ病

—日本精神病理・精神療学会 (第4回大会シン
ポジウム) —

はじめに……………新福 尚武……………340(5)	
〔I部〕Pathogenie との関連における性格と状況	
うつ病の心的世界……………諏訪 尚史……………341(5)	
躁うつ病者における性格と発 病状況の両極的把握について ……………森山 公夫……………352(5)	

躁うつ患者の家族的特徴から

みた性格と発病状況……………武田 専……………346(5)	
住まいの変化とうつ病……………飯田 真……………356(5)	
討論 (司会)・新福 尚武	
発言者 諏訪 尚史・飯田 真	
森山 公夫・武田 専・佐竹 隆三	
三好 都男・久山 照息・高橋 隆夫……………362(5)	

〔II部〕Schuldgefühl (罪責感)

総 括……………新福 尚武……………365(5)	
うつ病における罪責感の症候	
学的知見……………近藤 喬一……………366(5)	
うつ病者の罪の意識について……………矢崎 妙子……………370(5)	
うつ病と罪責体験……………木村 敏……………375(5)	
うつ病性罪責体験について……………梶谷 哲男……………380(5)	
討論 (司会)・宮本 忠雄	
発言者 近藤 喬一・木村 敏	
荻野 恒一・矢崎 妙子・土居 健郎……………386(5)	
総 括……………宮本 忠雄……………389(5)	

集団精神療法

—日本精神病理・精神療学会 (第4回大会シン
ポジウム) —

はじめに……………加藤 正明……………524(7)	
---------------------------	--

〔I部〕主発表

日本における集団精神療法	
—森田療法的立場からの検討— ……………藤田 千尋……………525(7)	

集団精神療法

—精神分析的な方向づけから— ……………鈴木 寿治……………530(7)	
指定討論……………畑下一男・中久喜雅文……………536(7)	

〔II部〕一般演題から

重複精神療法 (multiple psychotherapy)	
の問題点……………吉松 和哉……………541(7)	
集団治療過程の基礎的研究……………水島 恵一……………545(7)	
精神分裂病患者への集団精神 療法のところみ……………阪本 良男……………594(7)	
対人恐怖症の心理機制および 治療機転……………山下 格……………554(7)	
ある対人恐怖症者の集団の考察 ……………高橋 徹……………558(7)	
吃音者のための group psychotherapy	

.....対馬 忠	561(7)
討論 (司会)・逸見 武光	
発言者 鈴木 寿治	
中久喜雅文・阪本 良男・藤田 千尋	
畑下 一男・水島 恵一・対馬 忠	
吉松 和哉・武田 専・佐竹 隆三	
鈴木 知準	566(7)

〔座談会〕

医療における精神科の役割

—要望と批判を他科の立場

から述べる— (司会) 江副 勉・新福尚武	
北 鍊平・名尾 良憲・福山 幸夫	
橋本 正己	861(11)

誤 診..... (司会) 懸田 克躬

新福 尚武・江副 勉・横井 晋	
猪瀬 正・室伏 君士	957(12)

〔特別講演〕

うつ病への内因性変転に対する前

うつ状況の意義.....Hubert Tellenbach	
.....近藤喬一・訳	265(4)

地域精神医学会の歴史的役割

—結核との闘いの反省より—川上 武... 429(6)

英国における社会精神医学

.....David H. Clark	601(8)
.....本多 裕・訳	

質疑応答; Raynold, 土居 健郎・大原健士郎

高橋 良・相場 均・小島 洋

(司会) 臺 弘	607(8)
----------	---------

〔特別寄稿〕

慢性覚醒剤中毒のうえに生じた

病的酩酊についての考察.....林 暲	
.....市場 和男	97(2)

林暲先生を想う.....江副 勉... 107(2)

精神医学における臨床と遺伝

—非定型精神病の問題を中心にして—	
.....満田 久敏	185(3)

〔展 望〕

精神障害と社会階層.....大原健士郎・安田三郎... 676(9)

大学精神衛生.....石川 清... 765(10)

〔研究と報告〕

精神分裂病の責任能力への一寄

与.....中田 修	43(1)
Neuro-Behçet 症候群の 5 例	

津田 昌利・金子 善彦・吉沢 勇

村井 みほ・梅林 円尚	49(1)
-------------	--------

動脈硬化性病変を伴った Alzheimer

病の 1 剖検例.....近藤 重昭

相沢 宏邦・坂本 玲子・畠 就康	57(1)
------------------	--------

精神科特殊薬物の大量療法につ

いて (第 1 報)

—大量療法の意義と定式化をめぐつて—

吉川 武彦・米沢 照夫・中村征一郎

竹内 竜雄・矢野 徹・亀井 清安	65(1)
------------------	--------

脳脚幻覚症について.....大橋 博司

浜中 淑彦・池村 義明・河井 逸雄	108(2)
-------------------	---------

精神分裂病患者の再入院防止に

果たす長期薬物療法の役割

—とくに症例研究の側面から—

.....大熊 文男	113(2)
------------	---------

挿間性精神病状態を経過した日

本脳炎後遺症の 1 例.....鈴木 二郎	119(2)
-----------------------	---------

Hunter-Hurler 症状群 (Gargoylism)

の 1 例.....大河原竜太郎・杉田 力

室伏 君士	127(2)
-------	---------

精神分裂病者の縦断的脳波検索

田中 実・鈴木鉦一郎・高橋 隆夫	139(2)
------------------	---------

肺結核を合併した精神障害者にお

よぼす cycloserine の影響

山村 道雄・米倉 育男・平野 千里

大槻 信子・早川三野雄・宮川 建児	149(2)
-------------------	---------

分裂病および神経症の患者とそ

の両親の同胞順位

井村 恒郎・野上 芳美・山口 隆

萩原 信義・矢野 鎮夫・小林 継夫

石川 隆子・伊藤 健美・仲曾根泰昭	191(3)
-------------------	---------

入院患者の自己の退院に対する

態度 (第 2 報)

—精神病院風土との関連の

心理学的分析—

柴原 堯・井口 芳雄・松田 和之	197(3)
------------------	---------

Methaqualone (Hyminal) 嗜癖

の 5 例について.....根岸 達夫	204(3)
---------------------	---------

分裂病症状を伴う遺伝性筋萎縮

性側索硬化症の 1 例

宮尾 三郎・松沢 富男・小倉 正己	209(3)
-------------------	---------

入院中の分裂病者の自殺 (第 1 報)

- 自殺既遂について—……稲地 聖…… 213(3)
- 精神分裂病の発病と自我同一性……阪本 良男…… 218(3)
- Defekton の臨床適応に関する批判的論考
- いわゆる「分裂病欠陥状態」の精神病理学的考察—……木村 敏・山村 靖…… 229(3)
- 回復期うつ病者の精神療法……矢崎 妙子…… 277(4)
- 物語をもちいたテスト
- 分裂病者の反応—
- 野上 芳美・浅川 和夫・布施雄一郎
- 山口 隆・矢野 鎮夫・石川 隆子…… 285(4)
- 学校恐怖症に関する考察……有岡 巖
- 大海 作夫・勝山 信房・南 耀子…… 290(4)
- 記憶拒絶症 mnestischer Negativismus を示した分裂病の 1 例……
- 尾野 成治・森 慶秋・上野 文弥…… 295(4)
- 退行機制により治癒した小児精神分裂症の 1 例……奥村 晶子…… 300(4)
- 老人の死に対する態度
- 社会精神医学的研究—……吉沢 勲…… 309(4)
- 躁状態に行なつた炭酸リチウム
- の治療経験……佐久間もと…… 317(4)
- てんかんの社会精神医学的研究 (第 1 報)—家族の態度について—
- 田所 靖男・西尾 明・加藤 蘭子…… 395(5)
- 15 歳までに発症した離人症の 6 例……清水 将之・坂本 昭三
- 石神 亘・辻 悟・金子 仁郎…… 401(5)
- 全身性エリテマトーデスの精神分裂症状
- とくに分裂病様症状を呈した 1 例をめぐって—
- 臼井 宏・縄手 朗・仲宗根泰昭…… 407(5)
- 新抗うつ剤 Dimethacrin の使用経験……木村 敏…… 417(5)
- 地域精神医学—アメリカにおける歴史的発展およびその概念について—……小倉 清…… 436(6)
- 体感異常の研究……麻生 和友・秋本 辰雄…… 443(6)
- 「半側痛覚失認」Hémiagnosie douloureuse (P. Marie) について……浜中 淑彦…… 449(6)
- てんかんの社会精神医学的研究 (第 2 報)—社会の態度—
- 西尾 明・加藤 蘭子・田所 靖男…… 457(6)
- 自己像視の人間学的構造……石福 恒雄…… 465(6)
- 精神分裂病の家族療法(その 1)
- 患者の対象物関係の変化と治療過程について—
- ……阪本 良男・横山 桂子…… 471(6)
- 内観分析療法……石田 六郎…… 478(6)
- 老年期脳波の比較的研究……森 温理
- 黒川 英蔵・小泉 道義・石川 安息…… 489(6)
- 二重盲検プラセボ対照法による oxazepam (ハイロング) の神経症への効果
- 佐藤 倚男・伊藤 齊・開沢 茂雄
- 高橋 良・栗原 雅直…… 496(7)
- Déjà vu を初発症状とした側頭葉腫瘍の 1 例
- 端 宣夫・津田 清重・中田 勝次…… 577(7)
- Pyrithioxin (Enbol) の臨床使用経験
- 黒丸正四郎・花田 雅憲・笠井 勉
- 山田 東吾・明石 恒雄・鷹津 冬弘
- 鈴木 善之・森尾 種之…… 585(7)
- 精神分裂病者の社会適応経過
- 外来初診後 3 年間の経過調査—……国友 貞夫
- ……石川 辰夫・丸山 甫…… 609(8)
- 家族を被害者とする被害妄想について
- 分裂病者における共同体感情の障害についての考察—
- (II)……小久保享郎…… 613(8)
- I.C.L. による分裂病家族の研究……望月 晃…… 618(8)
- 精神分裂病の精神症状評定尺度
- 表の一試案……荒川 直人・後藤 彰夫…… 628(8)
- 痛覚失認の 1 例……三好 暁光・神谷 重徳…… 634(8)
- いわゆるナイトホスピタルの発展により発生する諸問題について……竹村 堅次・遠山 哲夫…… 645(8)
- 児童チックの治療についての研究
- 入院治療について—
- ……若林慎一郎・梅垣 弘…… 653(8)
- 列車妨害についての犯罪心理学的研究のこころみ
- 精神薄弱の一側面としての非行を中心に—
- ……広瀬 伸男・高田紗智子…… 661(8)
- 卵性双生児の 1 人に初発した集団ヒステリーについて……

- 島蘭 安雄・中村 剛・刑部 侃
岡部健一郎・下出 幸栄…………… 691(9)
- 一卵性の双子の一方に現われた
強迫神経症の 1 例
辻 悟・小林・良成・西岡 志郎… 699(9)
- 精神分裂病の家族精神療法(そ
の 2)
一家族抵抗とその治療的意
義について—阪本 良男・横山 桂子… 705(9)
- 精神分裂病者における唾液分泌
反応の特異性
一慢性分裂病者へのはたら
きかけの基礎的検討—
……………菱山 珠夫・越沼 重雄… 711(9)
- Mitten-Pattern について
倉光 正之・柳井 純一・犬塚 巽… 719(9)
- 幻影肢 (Phantom third limb)
を示した半側身体失認の 1
例……………井上 克己
松岡 正二・秋本 辰雄・稲永 和豊… 729(9)
- 集団歩行時の縦並びと横並び
一精神病院における生活療
法の行動学的検討—
……………菱山 珠夫・越沼 重雄… 737(9)
- 多彩な精神症状を呈した急性間
歇性ポルフィリン症の 1 例…藤森 英之… 744(9)
- 新しい抗てんかん薬 Benzylaniline
—4, 4' —disulfonamide (Ben-
zanimamide) …金子 仁郎・谷向 弘
西村 健・乾 正・播口 之朗
山田 悦秀・山本 順治・藤木 明… 751(9)
- 分裂病家族の人格特徴
—ロールシャッハ・テスト
による自我構造論—……………金子 仁郎
辻 悟・古荘 和郎・林 正延… 774(10)
- 精神分裂病家族の家族内コミュ
ニケーション……………金子 仁郎
辻 悟・林 正延・古荘 和郎… 781(10)
- 逆転移と治療者のパーソナリテ
ィのとりあげかた
一大学教室における精神療
法スーパービジョンのなか
で—……………小此木啓吾・鈴木 寿治… 789(10)
- 一反応性うつ病の精神力動
……………阪本 良男・梶山 清子… 797(10)
- 詐病という病識錯誤について……小泉 隆徳… 801(10)
- 森田療法における諸問題
一治療者の基本的態度を中
心として—……………藍沢 鎮雄
大原健士郎・増野 肇・宮田 国男… 811(10)
- 精神神経症状を呈した全身性エ
リテマトーデスの 2 例
松本 胖・十束 支朗・緑川 隆… 817(10)
- 宗派と犯罪 —その社会精神病
理学的考察—……………小田 晋… 827(10)
- 保健所における精神衛生定期相
談の現況と問題点
菊地 潤・近藤 重昭・加藤委奈子
新宮 幸子・堀 浩…………… 833(10)
- Dimethacrin (Istonil) のうつ病
に対する使用経験……………森 温理… 839(10)
- 症例検討よりみた薬物の効果判
定の問題 —Carpipramine
の臨床検討から—……………吉川 武彦
中村征一郎・根岸 敬矩・竹内 竜雄
矢野 徹・米沢 照夫・亀井 清安… 843(10)
- 抗てんかん剤 Trinuride による
無顆粒細胞症の 1 剖検例
須賀井正謙・高梨利一郎・石黒 健夫… 851(10)
- 精神病者の自殺への力動的接近
一治療者—患者関係を中心
とした症例検討を通じて—
吉川 武彦・矢野 徹・米沢 照夫
亀井 清安…………… 876(11)
- 精神分裂病患者への集団精神療
法のこころみ(その 2) ……阪本 良男… 833(11)
- 精神分裂病患者の院外作業療法
と社会復帰について
落田 裕・秋元 勇治・中野 雄二… 889(11)
- Diphenylhydantoin Lymphade-
nopathy について
細川 清・品川 昌二・藤原 二郎
野間 拓二・小笠原精三…………… 897(11)
- 飲酒嗜癖化に伴う家族の態度お
よび家族内役割の変化……………米倉 育男… 905(11)
- 著明な幻覚・妄想体験を示した
ナルコレプシーの 1 例
大月 三郎・細川 清・洲脇 寛… 913(11)
- 精神分裂病様症状を呈する
Klinefelter 症候群の 1 例

……………石川文之進・浅香 昭雄… 921(11)

接枝分裂病と診断され、女性的

言動を特徴とした Klinefelter 症候群の 1 例

高坂 睦年・徳永五輪雄・菊井 茂

吉田 俊彦・本森 良治・内田 茂… 927(11)

倒錯視または逆転視(Verkehrt-sehen)について

一周期性傾眠、間脳症、感覚・運動誘導症状群を伴つ

た 1 例—

大橋 博司・浜中 淑彦・河合 逸雄

池村 義明・西谷 裕・平盛 勝彦… 937(11)

刑法改正に関する私の意見

第 2 篇 不定期刑を中心として(その 1)

一意志の自由と非自由および決

定論と非決定論について……………田村 幸雄… 946(11)

向精神薬療法における肝障害……………大熊 輝雄

竹尾 生気・福岡 悦夫・内田 又功

久場 兼功・吉田 千尋・小諒 力… 977(12)

上顎癌手術後の患者 3 例にみら

れた精神障害

福田 一彦・白橋宏一郎・岩淵 辰夫… 985(12)

寛解状態にある分裂病者の職場

内適応について

小見山 実・金田美弥子…………… 989(12)

てんかんに対する Nitrazepam

(Epinelbon) の臨床使用経験…田所 靖男… 996(12)

刑法改正に関する私の意見

第 2 篇 不定期刑を中心として

(その 2) 責任論と刑罰論

I 意志の自由と刑法の学派…田村 幸雄…1001(12)

セネストパチーについて—自己の病に対する態度—

小池 淳・工藤 義雄……………1009(12)

〔動 き〕

学会認定医(仮称)制度に関する

私案……………猪瀬 正…89(1)

学会認定医制度について(アン

ケート)……………西丸 四方

稲永 和豊・原田 憲一・高木 隆郎

河村 高信・久山 照息・西尾友三郎… 174(2)

地域精神医学会の発足……………岡田 靖雄… 255(3)

第 7 回国際精神療法学会印象記…荻野 恒一… 332(4)

〔回顧と経験〕

わが歩みし精神医学の道〔第 19

回〕日本精神神経学会の盛

衰を中心として……………内村 祐之…71(1)

わが歩みし精神医学の道〔第 20

回—最終回—〕定年退職と

その後の生活史……………内村 祐之… 164(2)

〔紹 介〕

Psychiatria Clinica 発刊につい

て……………保崎 秀夫… 773(10)

アメリカにおけるてんかん者運

転免許の現況

—Epilepsy and the Law

の紹介—……………原 俊夫・倉重貴美子…1014(12)

〔資 料〕

限界状況における集団的幻覚体

験について —冬山遭難時

の幻覚の現象学的記述と精

神医学的考察—……………荻野 恒一…79(1)

薬物療法の登場によつて精神分

裂病の予後はどの程度改善

されたか……………島藺安雄・鳥居 方策… 157(2)

フランスにおける精神障害者の

社会復帰に関する機構と処

置……………浅田 成也… 235(3)

イタリアにおける精神医学教育…福水 保郎… 246(3)

異常脳波発現頻度に関する考察

平沼 博・渡辺 博・渡辺 敏也

小林 亮・井上 令一・桑村 智久

直居 卓…………… 323(4)

総合病院精神科における児童臨

床の現況と問題点—大阪赤

十字病院精神科における最

近 6 年間の経験—……………川端 利彦… 505(6)

沖縄における精神科診療の体験…吉村 正… 515(6)

立命館大学精神衛生相談室資料

石井 翼・佐々木隆三・田中 愛昭

宮崎 恭一・秀平麗二郎・石船 昇… 667(8)

アジアの麻薬中毒者対策の現況

—国連研修旅行に参加して—滝沢 和盛…1019(12)

〔書 評〕

ヴィノグラードフ著(岡田靖雄

ほか・訳): ソビエト精神 医学入門……………今泉恭二郎……86(1)	
Freedman, A. M. ほか編: Com- prehensive Textbook of Psychiatry……………徳田 良仁・小林 司……86(1)	
新井尚賢編集: 異常性格……………保崎 秀夫… 203(3)	
D. H. Clark 著・鈴木淳訳: 精 神科医の役割……………保崎 秀夫… 580(7)	

Gail. S. Fidler, Joy W. Fidler 著・加藤孝正訳「精神医学 的作業療法」……………鈴木 明子… 685(8)	
中久喜雅文著「精神科診療の実 際—一般医科のために」……………横井 晋… 826(10)	
H. Wieck 著「Lehrbuch der Psychiatrie」……………西丸 四方…1013(12)	

「精神医学」展望欄総目次(第1巻～第5巻)

最近のヨーロッパにおける分裂

病の精神病理学の動向につ いて……………村上 仁(1—1)	
ダーザインとゲシタルト……………西丸 四方(1—1)	
児童の精神分裂病……………黒丸正四郎(1—2)	
うつ病の臨床精神医学的研究の 現況(1945～85)……………平沢 一(1—4)	
精神鑑定の理論と実際……………林 暉(1—5・3・11)	
精神医学と内分泌……………鳩谷 竜(1—6)	
中枢神経刺激剤……………森 温理(1—10)	
老年精神医学……………金子 仁郎(1—12)	
最近15年間の妄想研究(1945～ 1959)	

(その1) 記述の方法 医歯大精神病(2—1)

(その2) 人間学的研究 理学グループ(2—2)

失語・失行・失認に関する最近
の諸研究……………大橋 博司(2—3)

ドイツ精神病理学の諸動向 N. Petrilowitch(2—4)

セネストパチーとその周辺……………保崎 秀夫(2—6)

頭部外傷後遺症の臨床……………後藤 彩夫(2—7)

Phenothiazine 誘導体を中心と
した精神疾患の薬物療法に
ついて……………伊藤齊・他(2—8)

フランスの妄想研究(1～5)……………小木 貞孝(2—8～12)

催眠療法……………蔵内 宏和(2—9)

精神身体医学……………池見西次郎(2—10)

病的酩酊の症候論……………中田 修(2—11)

てんかん—臨床と脳波—……………和田 豊治(2—22)

てんかん—治療と予後—……………田椋 修治(3—2)

制御障害の表出としてのてん

かん性けいれん発作 Helmut Sehbach(3—2)

真性てんかんの性格特徴

その1……………後藤 彩夫(3—2)

その2 ローレルシャッパ

テストについて……………大熊 文男(3—2)

精神病質研究の動向……………辰沼 利彦(3—3)

うつ病像の構造分析……………千谷 七郎(3—4)

精神分析学の展望—主として自
我心理学の発達をめぐる—
(1～5)……………小此木啓吾(3—5・8・11, 4—1)

精神分裂病の心理療法の歴史……………笠原 嘉・他(3—7)

「巣症状」としての精神障害……………大橋 博司(3—9)

最近の健忘症候群の研究……………保崎秀夫・他(3—10)

分裂病患者の治療……………立律 政順(4—1)

幻覚研究の歴史的展望

A. 精神病理学的方面……………島崎敏樹・他(4—4)

B. 身体病理学的方面……………島崎敏樹・他(4—5)

精神分裂病の心理療法の近況に
ついて……………阪本健二・他(4—6)

児童精神医学の諸問題……………堀 要(4—7)

感覚遮断……………大熊 輝雄(4—10)

精神疾患の疫学—Psychiatric
Epidemiology—……………加藤 正明(4—12)分裂病に関する最近の臨床遺伝
学的研究—ふたごの研究を
中心を中心として—……………井上 英二(5—1)神経性無食欲症(青春期やせ症)
の精神医学的諸問題……………下坂 幸三(5—4)

非行少年の精神医学……………樋口 幸吉(5—5)

臨床神経化学の展望……………中脩三・他(5—6)

非定型精神病の概念……………諏訪 望(5—7)

分裂病のリハビリテーション
—われわれの立場—……………西尾友三郎(5—8)いかにして離婚は精神医学の問
題たりうるか

—離婚の精神医学序論—……………畑下 一男(5—9)

先天性精神薄弱の成因について……………有馬正高・他(5—10)

臨床遺伝学からみた神経症理論
—ふたごの研究を中心にし

て—……………井上 英二(5—11)